

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月24日

| 1 基本事項    |  |
|-----------|--|
| 公の施設の名称   | 古淵鵜野森公園  |
| 指定管理者の名称  | 淵野辺公園グループ運営共同企業体   |
| 指定期間      | 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)   |
| 施設設置条例の名称 | 相模原市都市公園条例   |
| 施設の設置目的   | 公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条)<br>市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図るとともに、運動施設を有する都市公園として、スポーツの振興及び市民の健康増進を図る。 |
| 施設概要      | 古淵鵜野森公園(平成18年供用開始、4.9ha) : 樹林地、駐車場<br>地区公園 : スポーツ施設(屋外水泳プール・グラウンド)                         |
| 施設所管課の名称  | 環境経済局 環境共生部 公園課  |

| 2 管理実績               |           |           |           |           |           |        |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 項目(単位)               | 平成25年度    | 平成26年度    | 平成27年度    | 平成28年度    | 平成29年度    | 平成30年度 |
| 利用者数合計<br>【プール】(人)   | 24,652    | 19,520    | 21,668    | 19,862    | 17,355    |        |
| 利用者数合計<br>【グラウンド】(人) | 31,641    | 34,884    | 35,404    | 38,624    | 35,930    |        |
| 使用料収入(円)             | 3,213,900 | 2,535,720 | 2,877,620 | 2,538,760 | 2,234,760 |        |

| 3 成果指標の達成度 |   |
|------------|---|
| 指標名(単位)    | 屋外水泳プール利用者数(人)  |
| 指標式と指標の説明  | 達成度 = 実績値 ÷ 目標値 × 100<br>平成26年度の目標値は、東日本大震災等の影響に鑑み、平成24年度の利用件数(又は人数)を基に設定した。なお、平成27年度以降の目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。 |

| 項目     | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標値(人) | 20,000 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 25,000 |        |
| 実績値(人) | 24,652 | 19,519 | 21,668 | 19,862 | 17,355 |        |
| 達成度(%) | 123.3% | 78.1%  | 86.7%  | 79.4%  | 69.4%  |        |

4 評価

| 指標名         | 評価 | コメント   |
|-------------|----|--|
| 施設の設置目的の達成度 | B  | 屋外施設として天候等に左右されやすいため、目標値を大きく下回る結果となったが、プール利用者からは高い満足度を得ていることや、プールでの実施事業が前年以上に好評であったことも考慮して、B評価とした。                                     |
| 事業・業務の履行状況  | A  | 地域団体と連携を図りながら、公園の適正な管理に努めている点や、利用者のニーズをとらえ、積極的に反映している点についても評価している。   |
| 利用者満足度の向上度  | A  | 利用者満足度の達成度については、目標値が90.0%に対して、結果が屋外水泳プールで97.4%(子ども対象)・99.3%(大人対象)、2回目では96.0%であったが、グラウンド利用者の回答数が10%未満と少なかったことから、調査時期や調査対象については改善の余地がある。 |
| 財務状況の適正性    | B  | 人件費や光熱水費が増加し、グループ全体で1,000万円の赤字となった。当初見込んでいた事業収入を大きく下回り、収支計画の適正という点で課題が見受けられた。<br><br>この項目はグループ全体の収支状況を評価する。                            |

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「」もしくは「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「」もしくは「」つき、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「」である。
- C: 「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
  - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

|             |   |
|-------------|---|
| <p>コメント</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール利用者が前年比で2,507人減となったが、企画した教室については前年よりも多くの参加者が集まったことは、企画した内容が利用者のニーズに即したものであったと評価している。</li> <li>・プール利用者への対策として、熱中症による死亡事故等もある中で、プールサイドでの水分補給や開場時間の前倒し等の実施を行ったことや、更衣室の修繕によるきめ細かな対応で老朽化した施設イメージを一新したりと、指定管理者の工夫が見受けられたことを評価している。</li> <li>・多目的グラウンドにおいては、利用におけるマナーについての課題が散見されるため、利用者の平等利用等が図られているかを念頭におき、管理していただきたい。</li> <li>・アダプト団体とともに稀少植物の保護を実施している一方、安全性を考慮した剪定・伐採も行い連携が図れている。また、アダプト団体を活用し、森の小さな博物館を実施することにより公園の特色を生かした魅力発信が出来ている点について評価できる。</li> </ul> |
|-------------|---|

6 指定管理者選考委員会による評価

|              |   |
|--------------|---|
| <p>評価実施日</p> | <p>平成30年7月24日</p>   |
| <p>コメント</p>  | <p>グループ全体として赤字となったが、これまでも専門性やノウハウを活かし積極的な管理運営を展開してきており、利用者サービスの質を維持したまま、いかに業績回復を図るか、指定管理者の手腕に期待したい。</p> <p>この項目はグループ全体について評価する。</p> |